



NPO法人 バーチャルフォトウォーク

法人概要 2022

バルサム湖の
夕暮れ



タイ
サラマニー寺院



秩父
羊山公園



創立者挨拶



当法人の概要をご覧ください、誠にありがとうございます。

私はバーチャルフォトウォークの創立者で特定非営利活動法人バーチャルフォトウォークのもう一人の代表理事 ジョン・バテリルです。

バーチャルフォトウォークの目的とは、障がいや病気、高齢、また最近は新型コロナウイルス感染予防のための自粛により、孤立した人々をITの力で社会につなげることです。具体的には、世界中にいるプレゼンターが、スマートフォンの4G LITE回線を使い価値ある情景をZoomで配信し、それを参加者が視聴します。

ここで強調したいのは、そこにはプレゼンター、ホスト、視聴者との楽しく生きた会話があることです。私たちは今まで、多くの参加者を笑顔にしてきました。あなたもぜひ、デモンストレーションまたはテスト参加によりバーチャルフォトウォークを体験してみてください。
welcome@virtualphotowalks.org までご連絡くだされば、すぐ日本人担当者が折り返しご連絡いたします。皆様からのご連絡を楽しみにお待ちしております。

ジョン・バテリルより



目的

バーチャルフォトウォークとは、病気、障がい、介護、新型コロナウイルス予防の自粛等により外出がままならない人々に、写真家がスマートフォンとZoomを利用して美しい景色と楽しい会話をライブストリームし、閉塞感や孤独感などの精神的な苦痛を癒してもらわんとする社会奉仕活動です。

Virtual Photo Walks is a NPO that uses smart phones and video conferencing to enable students and people isolated by illness or disability to travel the world in real time, experiencing distant learning.

Thanks to our technology partners and a group of dedicated virtual volunteer guides from all over the world, we're able to make the world bigger and brighter, for our community of people with disabilities, educators and students. Our hope is through our efforts, we can make a difference in people's lives.



沿革



2012年2月	カナダの写真家John Butterill 初めてSNSで寝たきりの人々に景色をライブ中継する
2012年4月	バーチャルフォトウォークをカナダの任意団体として創立
2012年8月	Google社「 <u>John Butterill's Virtual Photo Walks</u> 」ビデオ作成
2014年10月	米国 エミー賞候補に選出
2016年11月	創立者の許可のもとVirtual Photo Walks Japan活動開始
2018年1月	「バーチャルフォトウォーク 一病人を孤独から救う活動」 第5回潮アジア太平洋ノンフィクション賞 ファイナリスト
2019年10月	「彩音ちゃんの世界旅行(<u>Ayane Discovering the World</u>)」ビデオが Zoom社主催 Zoomtopia2019 Innovation Award 最優秀賞を受賞
2012-2021年	千回以上のライブイベントを配信
2021年5月	特定非営利活動法人バーチャルフォトウォーク 法人設立

実施されたライブウォークの一覧はこちら→





理事



ジョン・バテリル（カナダ）
創業者・代表理事



永堀 典子
コーディネーター・代表理事



戸谷 剛
医師・医学博士



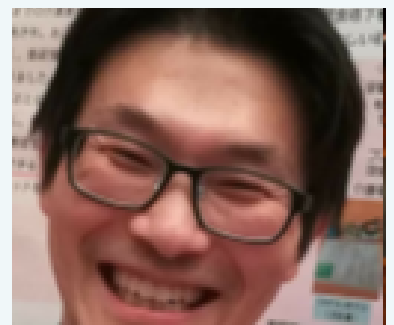
キャスリーン・ウダール
弁護士（カナダ）



パトリック・チェン
個人事業主（タイ）



浅野 里絵
介護福祉士



山下 和典
作業療法士

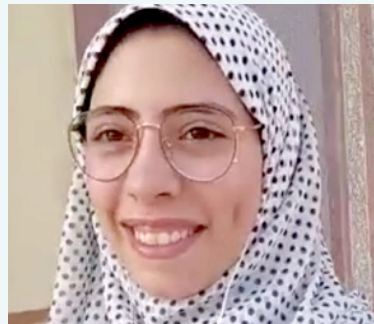
スタッフ



ダン・ラゴ（カナダ）
国際弁護士・アドバイザー



林 ひろし
プレゼンター



ファイザ・エルナディー
プレゼンター（エジプト）



ゾエ・ブラチェリー
モデレーター（米）



堤 君代
プレゼンター・モデレーター



稲垣 功一
プレゼンター・モデレーター



ジョニー・クロバーダズ
プレゼンター（スペイン）

「一人も取りこぼさず笑顔に！」

01 障がい者支援

新型コロナウイルス予防のための自粛で多くの校外学習機会を奪われた障がい児などが疑似散策体験ができるよう相談を受け尽力しています。

02 高齢者支援

新型コロナウイルス予防のため外出の機会を失った高齢者にも、美しい景色を見ながら楽しく会話ができるよう、オンラインラウンジを企画しています。

03 孤立防止

今の世の中では家族と暮らしていても孤立します。当法人はどのようなタイプの孤立についても解決できる人材と知見があります。



さらに青少年ボランティアを育成



阿部 敬太君 (文教大学2年生)

バーチャルフォトウォークには数名の青少年プレゼンターが活躍しており、そのライブウォークは年代や性別、国籍をえらばず多くの視聴者に喜ばれています。その上で、こうした青少年にとっても、カメラワークを覚える、障がい者への配慮を学ぶ、日本人が弱いとされているアピール力、プレゼン力、実践的な英語力をつける、など、社会に出ても役立つ力をつけるメリットがあります。

写真の阿部君、樋山さんは、足立区社協様によりご紹介いただいた、文教大学あだちキャンパス国際学部 林 薫教授ご指導「地域サービスラーニング」科目の一環として実施されました。



樋山 莉佳子さん (文教大学2年生)



災害時オンライン 被災者サポート事業

特徴

NPO法人バーチャルフォトウォークは創立者であり代表理事のジョン・バテリルをはじめとして、北米・ヨーロッパのプレゼンターも2, 3か国語が使えます。また、アラビア語、中国語、タイ語等のスピーカーもいます。時差を有効利用すれば、日本、北米、ヨーロッパのメンバーで24時間の対応が可能です。

また、理事の山下和典ほか関西のメンバーは、仮に関東全体が被災し動きがとれなくてもサポートが可能です。さらに、仮に国内のZoomサーバーが被災でダウンしたとしても、世界のどこかのサーバーが運行していれば、国外在住の要員によりこのサポートプログラムは実現可能です。日頃、距離を保ってサービスを提供していたことが、災害時には強みとなるでしょう。また、何よりも、オンラインで済むので新型コロナウイルス感染のリスクがほとんどありません。



提案の概要

01

オンライン防災訓練
テーブルトップ防災訓練

03

多言語サポート
外国籍居住者に多言語
で避難情報を提供

02

モニタリング
インフラの被災状況を
リアルタイムで報告

04

心のケア
プロボノで心のケア
(ピアサポート)



ご支援ありがとうございます



VIRTUALPHOTOWALKS.ORG

“歩こう、歩けない人のために”

特定非営利活動法人
バーチャルフォトウォーク

法人番号	7011805003072
代表理事	John Butterill, 永堀典子
住 所	〒120-0006 東京都足立区谷中5-5-8 204
電話番号	03-6802-6843
E-Mail	welcome@virtualphotowalks.org
WEB	www.virtualphotowalks.org

